

2007年9月26日

網代 太郎 様

「生体電磁環境研究推進委員会報告書に係る質問状」に関する回答

拝復 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、上記ご質問状に対して別紙のようにご回答申し上げます。

なお、今後のご質問は直接総務省電波環境課にお願い申し上げます。

敬具

上野 照剛

「生体電磁環境研究推進委員会報告書に係る質問状」に関する回答書

1. WHO等の国際機関や世界各国の研究者の見解等も踏まえ、生体電磁環境研究推進委員会において公正中立に評価したものです。また、研究の質・精度についても、国際的会議や学会等において評価を受けているものであり、十分に高いものであると認識しております。
2. 本委員会の構成委員については、個々の研究テーマに応じ、純科学的・技術的な視点から専門家を選定しております。
3. WHO等の国際機関や世界各国の動向等を踏まえた本委員会の見解です。
4. 研究実施主体が実施した研究の結果に基づき、本委員会でその適当性を確認した上で報告書への記載を行ったものです。
5. 「間違った情報」とは、WHO見解等の国際機関の公式見解を無視した内容等を示します。また、「科学的根拠に基づいた正しい情報」とは、学会等の公の場において査読等の手続きを経た情報を示します。
6. 本委員会では、研究テーマに応じ、その時々において医師を含めた専門家や有識者に御協力頂き、検討を行って参りました。
7. 本報告書に関連する論文や研究担当者等の情報については、報告書219頁以降に添付されている「付録」をご参照下さい。
8. 本委員会のリスクコミュニケーションに関する見解は報告書に記載のとおりです。総務省が主催している電波の安全性に関する講演会は、リスクコミュニケーションの観点からも重要なものであると認識しております。
9. 報道発表等を随時適切に実施してきたとともに、10年目にあたる今年4月にこれまでの検討内容をまとめ、講演会やホームページ等を利用して国民に広く周知してきたところです。

以上